

うるおいの風景 悠久の流れ

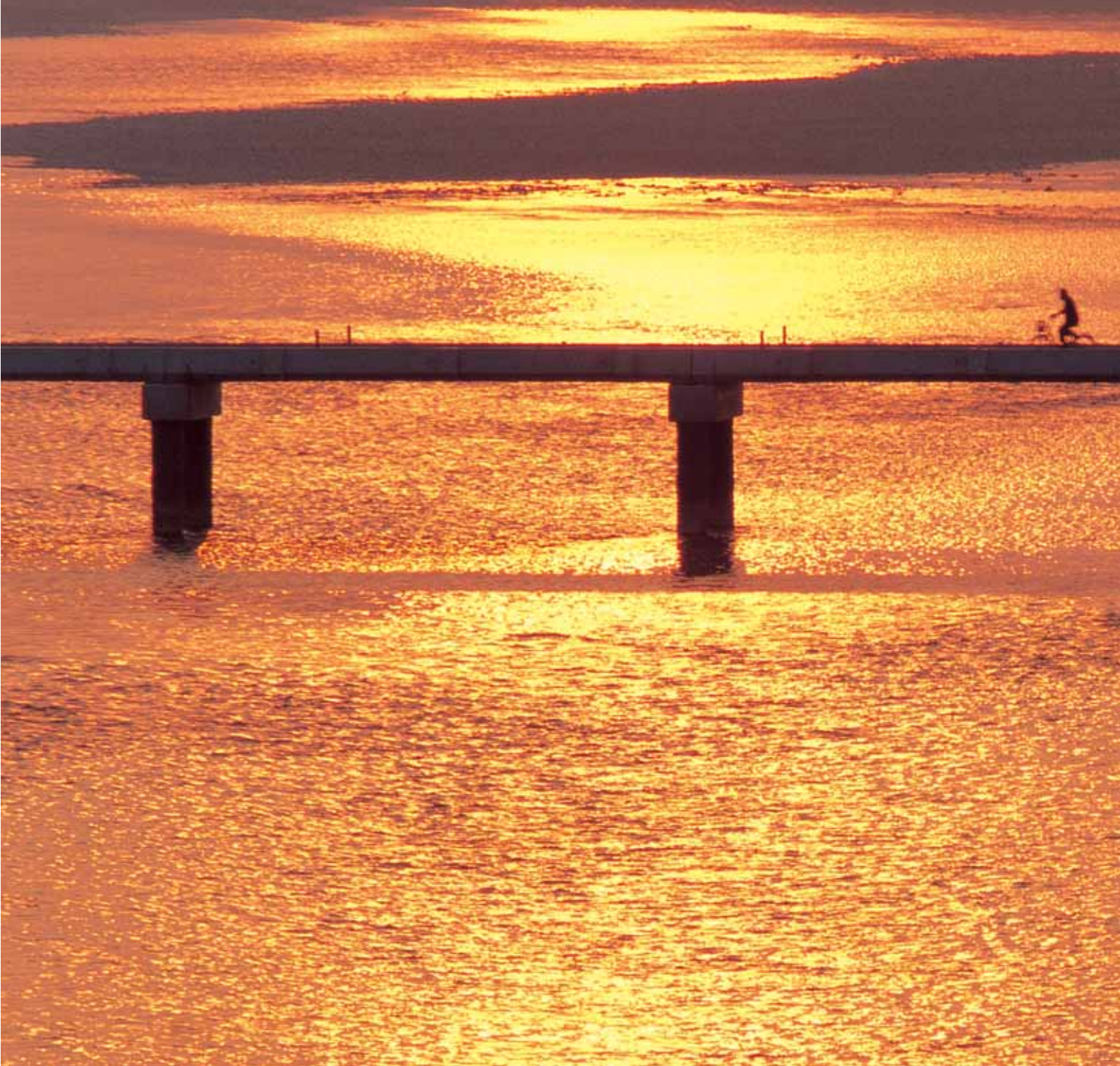
四国一の大河、吉野川
四国一の清流、穴吹川
恵みの水の物語

美馬市のなかほどを流れる吉野川は、延長19.4キロメートル、流域面積は3,750平方キロメートル。四国三郎とも呼ばれ、日本三大暴れ川の一つでもあります。護岸整備のなかった昔は、何度も氾濫を繰り返し、人々を悩ませてきましたが、そのおかげで流域には、肥よくな土地が広がっています。

また、吉野川の水運によって岸辺のまちは大いに繁栄してきました。脇町の町並みも、吉野川で運ばれる藍の商いによって、豪奢な家並みが並ぶようになりました。吉野川がこの地に運んだものは計り知れないものがあります。

美馬市において、吉野川に架かる橋は7本あります。穴吹橋や美馬橋などの国道を結ぶ橋や、脇町潜水橋など暮らしにとけ込んだ情緒あふれる橋もあります。今では、吉野川をのぞむ地に「四国三郎の郷」と名付けられたアウトドアスポットもあり、大河や橋の風景を楽しむ人々も訪れています。

吉野川の支流も、幾つかが美馬市を流れ、渓谷や清流の風景をつくりだしています。なかでも穴吹川は、四国地方整備局の水質検査で四国一水質の良い川と連続で認定され続けて来ました。毎年8月には、美馬市の一大イベントである「筏下り大会」が開催され、人々が集い豪快に水と戯れます。また、山に入れば、「閑定の滝」や「百々の滝」などの美しい姿を見ることが出来ます。水の風景が、人々をなぐさめ勇気づける美馬市です。



脇町潜水橋



鮎釣り風景



穴吹川



閑定の滝